

2022年8月10日

国土交通大臣 齊藤 鉄夫様  
熊本県知事 蒲島 郁夫様

代表連絡先（賛同団体は末尾掲載）

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880

## 球磨川水系河川整備計画策定に対する抗議文

国土交通省と熊本県は8月9日、流水型ダムを中心に据えた球磨川水系河川整備計画の正式策定を公表しました。公聴会やパブリックコメントなどで示されてきた流域住民や県民のダム反対の意思を無視した暴挙です。私たちは、このことに強く抗議します。

流水型ダムであっても、命と清流は守れません。ダムによる治水効果は極めて限定的であり、想定外の降雨には対応できず、緊急放流の危険性があります。また、他の流水型ダムの事例から明らかですが、流水型ダムであっても川の環境は破壊されてしまいます。

私たちは、一昨年の豪雨災害発生以降、行政側に対して豪雨災害の共同検証を求め続けてきましたが、行政側は拒否し続けました。これでは、整備計画が豪雨災害の検証結果を踏まえて策定されたものかどうか判断できません。

水害被災者を始めとする流域住民には、これまでの体験からダムに対する強い拒否感情や疑問があります。行政側は「流域の住民に対しては今後も理解が深まるようコミュニケーションに努めたい」（8月5日、熊本県河川課）「これからも丁寧に説明しながら事業を進めていきたい」（8月9日、八代河川国道事務所宗塚万所長）などと述べていますが、これまでそのような思いや疑問を抱く住民に対して、納得のいく説明は全くありませんでした。

貴職らは、ただ川辺川ダムを造りたがっているだけであり、住民に受け入れられる治水対策を実施するつもりがないことは明らかです。形だけは法に基づいたように進められていますが、実質的に住民の声を無視して策定された今回の整備計画など私たちは到底、受け入れる訳にはいきません。私たちは、この整備計画を断固拒否するとともに、流水型川辺川ダム計画の中止を勝ち取るまで闘い続けることを宣言します。

以上

## 賛同団体一覧

7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子 市花 保  
坂本町被災者・支援者の会 代表 本田 進  
清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣  
美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃  
瀬戸石ダムを撤去する会 共同代表 出水 晃 上村 雄一 本田 進